

2018/11/27 防災塾・だるま主催特別講演会に参加しました。

2018/11/29 公益社団法人横浜中法人会主催「防災セミナー」に参加しました。

防災塾・だるま主催講演会

1. 日時： 2018年11月27日（火）14：00～16：30
2. 場所： 神奈川大学横浜キャンパス 1号館8階（1-804室）
3. 演題： 災害多発の日本列島－横浜市の活動紹介と今後の課題－
4. 講師： 横浜市危機管理監 荒井 守 氏
5. 講演要旨： 2018年発生した主な災害を振り返り、横浜市による被災地への支援活動やその活動を通して見えた問題点や今後の課題等について伺いました。
6. 出席者： 30名 当協会から赤嶺正治副会長が出席しました。

横浜市に登録する当協会として横浜市の防災への支援活動等を学ぶことは、会運営に大きな意義があります。講演会資料等は自由に閲覧できるよう当協会事務所に備えています。



写真 「特別講演会」会場の様子

「防災塾・だるま」とは、

地域の防災活動は、来るべき大地震の際の減災に大きく寄与します。このような趣旨で2005年神奈川区主催の生涯学習講座「地域防災まちづくり講座」が神奈川大学で開催されました。その講座受講生などを中心に「防災・まちづくり談議を楽しむ会」が始まり、大学・行政・自主防災組織・ボランティア組織・防災に関心がある方々を交えた会合で交わされた意見や課題を実践活動に移すのが目的で、「防災塾・だるま」が発足しました。第23回（2007/4）から「防災まちづくり談義の会」は、月1回神奈川大学にて開催しています。「防災塾・だるま」は“七転び八起き”からネーミングされました。（「防災塾・だるま」Web ページより）

公益社団法人横浜中法人会主催「防災セミナー」

1. 日時： 2018年11月29日（木）18：00～19：00
2. 場所： パセラリゾート横浜関内店 8階
3. 演題： 「首都直下地震・南海トラフ巨大地震に企業が備える」
4. 講師： NPO 日本防災環境専務理事・防災士 今野 茂雄 氏、
横浜市総務局危機管理課担当課長 小澤 美奈子 氏
5. 講演要旨： NPO 日本防災環境専務理事・防災士 今野 茂雄 氏
未曾有の国難<国の政経中枢を大打撃・広域30都府県に広がる大規模地震>

被害想定	首都直下地震	南海トラフ巨大地震
発生確率<地震調査委員会>	30年以内 70%	30年以内 70%～80%
死者<地震調査委員会>	最大 23万人	最大 33万人
建物<地震調査委員会>	最大 61万棟	最大 239万棟
被害金額<内閣府発表>	約 47兆円	約 170兆円
交通インフラ等含む被害想定	約 170兆円	約 1,240兆円

が想定されるそうです。

横浜市総務局危機管理課担当課長 小澤 美奈子 氏

横浜市の防災について詳しく知るために次の Web 検索を参考にしてほしいとの事です。

[横浜市 危機管理室](#) [検索](#) クリップ（内容：防災情報、防災の地図、避難勧告、地域防災拠点、防災情報メール、わいわい防災マップ、危機管理対策等）

[横浜市 帰宅困難者対策](#) [検索](#) クリップ（内容：災害時一斉帰宅の抑制等）

6. 出席者： 60名 当協会から相川康明会長、赤嶺正治副会長が参加しました。

当協会は、公益社団法人中法人会の会員であり、毎年総会等に出席していますが、今回は特別企画として当協会が事務所を置く中区の地域防災についてのセミナーであり、防災専門家や横浜市危機管理課担当課長様はじめセミナーに参加された多くの方々から、貴重なお話を伺うことができ、今後の当協会の活動に大いに役立つものと考えます。



写真 「防災セミナー」会場の様子